

日経平均株価

5万4253円68銭

▲ 4 3 5 円 6 4 銭 (前日比)

TOPIX

3 6 9 9 . 0 0

▲ 46. 59 (前日比)

www.marketpress.jp

発行元 株式会社 株式市場新聞社

7541-0058

大阪市中央区南久宝寺町3丁目2-7

TEL 06-6105-1904



選挙は終わり国会がスタートする

| | |
|---|----------------------------------|
| 対GDP比での増額の前倒し」や「防衛生産基盤・技術基盤の強化」に言及していたが、中国が日本への圧力を強めるなかで、防衛力強化を改めて進めることになる。三菱重工（7011）や川崎重工業（7011） | 13）、東京計器（7712）、日本アビオニクス（6946）など。 |
| 中国がレアアースの輸出規制を強めるなかで、レアアースの国内調達や代替材の国内確保は急務。2月14日まで南鳥島周辺でレアアース泥採鉱システムの接続試験を実施しており | 石油資源開発（1662）や東洋エンジニアリング（6333） |

躊躇なく政策を実行へ

衆議院議員選挙の投開票が2月8日に実施された。昨年の政権発足当初は新政権が選挙で国民に信任されていないと一部で批判され、それが政策推進の足枷となっていた。今回の解散総選挙には賛否両論はあったものの、選挙で襖を済ませたことで高市政権は安定政権となり、躊躇なく政策を実行できる。防衛や食品消費税ゼロ、レアアース、維新との連立継続による大阪の副首都構想などを含めて改めて高市政権の政策に絡む銘柄をチェックしておきたい。

防衛、レアアース、副首都構想など

高市関連銘柄を再点検

0)などの資源開発が注目されよう。

選挙の公約では食品の消費税ゼロが数年の期間限定ながら盛り込まれていた。

イオン(8267)、業務スーパーを運営する神戸物産(3038)など。

衆院解散にあわせ大阪府の吉村洋文知事と大阪市の横山英幸市長が辞職し出直しのダブル選が行われた。大阪都構想や副首都構想の具体化が期待されることから、30年に大阪市で開業を目指すIR（統合型リゾート）の運営元であるオリックス（8591）や京阪ホールディングス（9045）、阪急阪神ホールディングス（9042）などが注目される。

日経平均の日足チャート



1月第5週の動意銘柄

自動車下げ目立つ

急激な円高で収益悪化を警戒

1) など自動車株の下げが目立った。東証上場33業種中、輸送用機器が下り率トップになった。

週明け26日、トヨタ自動車(7203)が大幅に反落したほか、日産自動車(7201)、ホンダ(7267)、マツダ(7266)が大幅続伸。前

NY連銀がレートチャックを実施したと伝わり、日米両政府による為替介入への思惑から、1ドル154円台まで円が急騰。円高進行による国際競争力の低下と収益悪化が懸念され、自動車株に売りが広がった。

東邦鉛は銀先物上昇

東邦鉛(5707)が大幅続伸。前

週末のNY市場で銀先物価格が初の100ドル台に乗せたことで、鉛・銀製錬大手で銀生産量国内トップクラスの同社にスプレッド拡大による収益改善を期待した買いが向かった。銀先物にはグリーンランドを巡る思惑から、リスク回避のための安全資産買いが流入する状況が続いている。

ケミプロ化成4連騰

ケミプロ化成(4960)が4連騰。高市首相がペロブスカイト太陽電池の普及に意欲を示していることが再度材料視された。ペロブスカイト太陽電池用材料の開発が産総研「被災地企業等再生可能エネルギー技術シーズ開発・事業化支援事業」に採択されている。

正直いいさんの株で大判小判

前週の東京市場は3週ぶりに反発しました。日経平均は前の週から930円上昇しています。週初は乱高下の末、大幅安で引ける波乱気味のスタートでしたが、円高が一服するなか、翌7日は半導体関連を中心に主力株が買われ、超の上昇で最高値を更新。市況急落で非鉄金属株、ソフトウエア関連が大幅安から切り返し、高値を更新しています。圧勝はほぼ織り込まれ、週明けは一旦利益確定りそうですが、政策への期待は強く、半期決算は通期正と増配が相次いでいます。引き続き決算内容をチェックして政策に乗る好決算銘柄を狙いたいと思います。

花咲翁



政策に乗る好決算銘柄狙う

ユニチカICフロス期待

27日、ユニチカ(3103)がストッ

銀高純度は増額増配

日本高純度化学(4973)がストッ

インソース大幅続落

インソース(6200)が大幅続落。26

電線コーニング急騰

28日、フジクラ(5803)、古河電



プ高、昨年来高値を更新した。AIデータセンター向けのガラス繊維の品薄が深刻化するなかで同社でもプリント基板用ICクロスなどの需要増が期待される。株価が比較的低位で放置されていることも買いを誘っており、2Qの連結経常利益は前年

同期比4・2倍に急拡大しており、3Q決算への期待も強い。

0万円(同5・9%増)へ上方修正、期末配当を63円から173円(前年同期63円)へ引き上げた。生成AI関連需要拡大により、半導体パッケージ、モジュールやメモリ向けが堅調に推移。

0万円となった。講座設定数の不足で受講者数が減少した。

の急騰した。メタ・プラットフォームズとAIデータセンター向け光ファイバーケーブルについて、2030年までに最大60億ドルを支払う契約を結んだと伝わった。コーニングはケーブル工場を拡張中とされている。

富士ダイス一時S高

人口ダイヤ米投資第1号案件

28日、富士ダイス(6167)が一時的トップ高。日米関税合意に基づく総額5500億ドル(約85兆円)の対米投資について、人口ダイヤモンドを米国内で生産する計画が有力候補になっていることから関連銘柄として人気を集めた。人口ダイヤは半導体製造などに必要な経済安全保障上の重要物資で両政府は発電関連事業など複数のプロジェクト

信越化学工業(4063)が大幅反落。26年3月期の第3

26年3月期の第3

四半期累計決算は、連結営業利益で前年同期比14・8%減の4980億2600万円となった。予想に対し概ね8割の進捗にとどまったが、伸びの強い市場にシリコンウエハー、フォトレジスト、マスクブランクスなどの半導体材料が伸びた。同時に2368万1700株の株式売り出しを発表した。

ヤードで遂行中のLNGプロジェクトの完成工事高と採算の見直しなどが寄与した。

ステラファーマ急伸

888)が急騰。大

阪医科薬科大学、住

友重機械工業(6302)と大阪医科薬

科大学が実施する医師主導治験に関する

契約を締結したと発表

した。IDH遺伝子

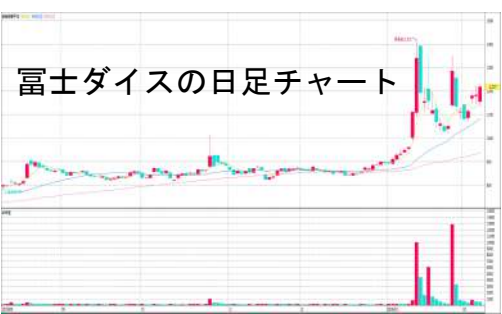
野生型再発芽腫患者

者を対象としたBNC

T試験で有効性と安全性を検証すること

を目的としている。

千代化は大幅増額 29日、千代田化工建設(6366)が続騰。26年3月期の業績予想について、連結売上高で3850億円から4900億円(前期4569億6900万円)、営業利益で195億244億2100万円(同)へ大幅に上方修正した。米MCDEのジョイントベンチ



個人投資家向けIRセミナーin大阪



新田ゼロイチ

(4977)

2026年2月14日(土) 参加費無料

株式評論家 高野恭壽氏の株式講演会

参加申し込みは info@marketpress.jp から!

主催: 株式市場新聞社 場所: 大阪産業創造館

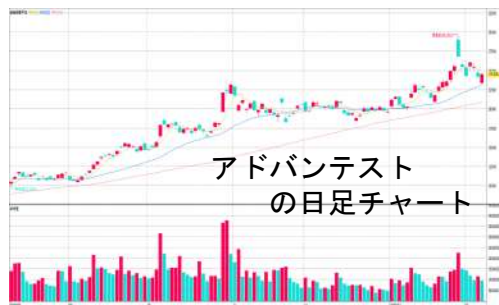
6階会議室(堺筋本町駅[出口1]徒歩3分)

13時開場、13時30分開演



アドテストが最高値

増額で37%増収営業益倍増



29日、アドバンテスト（6857）が7連騰で最高値を更新。2月6日の業績予想について、連続して高で売上

700億円（前期比37・2%増）、営業利益で3740億円から4540億円（同99・0%増）へ上方修正した。A I関連向け半導体の複雑化や性能向上と

キオクシアが新値追い

サプライチェーン拡大、生産数量の増加

などで高水準なテスト需要継続を見込む。

週末30日、キオクシアホールディングス（285A）が大幅高で連日の最高値。米サンディスクが発表した1051

カルナバイオ希薄化

共同投資する四日市工場の合弁契約を5年間延長することも発表している。

カルナバイオサイ

心配の種

先週の東京株式市場は反発しました。日経平均は火曜日に最高値を更新。TOPIXは金曜日に同じく最高値を更新。8日の衆院選での与党圧勝観測が株価を押し上げました。

ただ、心配の種があちこちに見られます。貴金属相場が乱高下し、仮想通貨が底割れとなりました。そのためNY市場ではリスクオフムードが高まりつつあり、5日段階でS&P500が13週線割れ、ナスダックは26週線割れとなりました。また日経平均との連動率が高い半導体SOX指数が25日線割れとなりMACDが陰転しました。これらの悪い流れが断ち切られない場合、東京市場も悪影響を受けるかもしれません。

8日の衆院選の結果次第のところはありますが、与党圧勝をほぼ織り込んでいるものと思われ、今週ピークを迎える決算発表を手掛かりに個別物色中心の一週間となり返うでしょう。

日々勇太郎



2月第1週の動意銘柄

第一稀元素化学

週明け2日、工業（4082）と東洋エンジニアリング（6330）がストック高となり、ア

レアアス関連値飛ばす

サリ理研（5724）

などレアアス関連が値を飛ばした。南

鳥島沖で行われている国産レアアスの試験採鉱について、水深6000メートルからのレアアス泥の回収に成功した

住友金属鉱山（5713）が大幅続落

と報じられたことが好感された。

住友金属鉱山（5713）が大幅続落。NY金先物相場が一

時12%安と急落し

たことで、収益への影響が懸念された。トランプ米大統領がタカ派とみられているウォーシュ氏を次期FRB議長に指名すると表明、ドル相場反転が意識され、

金価格に下押し圧力が強まった。

レーザテック期待届かず

（6920）が続落。26年3月期の業績予想について、連結売上高で2000億円から2200億円（前期比12・5%増）、営業利益で80億円から180億円（同18・6%増）へ上方修正した。一部製品売上前倒しと為替の影響を考慮したが、市場の期待に届かなかった。

京セラ3連騰で新値

半導体関連高水準で上方修正

3日、京セラ（6971）が3日連騰、昨年来高値を更新した。26年3月期の業績予想の修正を発表、連結売上高で1兆9500億円から2兆200億円（前期比0・3%増）へ、営業利益で700億円から1000億円（同3・7倍）へ上方修正した。半導体関連事業における需要が高水準で継続している。第3四半期累計の営業利益は706億2100万円

ヤマハ発動機減配

ヤマハ発動機（7272）が急反落。25年12月期の連結

業績について、最終利益を450億円から165億円（前期比4・7%減）へ大幅に下方修正した。繰延税金資産取崩し金額を精査した結果、法人税等調整額325億円を計上する。収益減少に伴い年間配当金を50円から35円（前期50円）に引き下げた。

キオクシア連日の最高値

キオクシアホールディングス（285

A）が大幅高で連日の最高値更新。米サンディスクが発表した10（12月）期決算は、売上高が前年同期比61%増、純利益7・7倍と大幅に拡大、市場予想も上回り、時間外で株価が15%強の大幅に上昇した。データセンター向け売上高が前四半期比で64%増と大きく伸び、全社収益を牽引。また、サンディスクは共同投資する四日市工場の合弁契約を34年12月末まで延長することも発表した。

イビデン投資負担も

イビデン（4062）が急反落。26年3月期第3四半期の連結決算は営業利益445億2700万円（前年同期比27・7%増）だったが、市場予想に届かなかった。AIサーバー関連は順調ながらPCや汎用サーバーなどは想定を下回り、通期計画の上振れ期待が後退。総額5000億円規模のICパッケージへの大型投資による負担も警戒された。

任天堂は急落し安値

3Q予測下回りメモリ高騰懸念

4日、任天堂（7974）が急落、昨年来安値を更新した。3日の取引終了後、26年3月期の第3四半期累計（4）12月決算を発表、連結営業利益21%増の3004億円となったが、市場予想を下回った内容が嫌気された。売上高は1兆9059億円と倍増しており、メモリ価格高騰でハードの利益

ヒロセ電上方修正

ヒロセ電機（6806）が大幅続伸。26年3月期の業績予想について、連結売上収益で2000億円から2050億円（前期比8・2%減）へ、営業利益で400億円から410億円（同3・9%減）へ上方修正した。為替動向と主に一般産業向けビジネスが前回予想を上回る見込みのため。

平河ヒューテック

平河ヒューテック（5821）が4連騰。3日の取引終了後、2

オルガノは未達警戒

5日、オルガノ（6368）が急続落。26年3月期第3四半期累計の連結決算は、営業利益261億円（前年同期比32・2%増）と大幅増益で着地したが、直近3カ月の10（12月）期87億円と6%弱に増益幅が縮小していることで、通期計画の360億

イーディピーS高

イーディピー（794）が続騰、ス

トップ高まで買われた。ダイヤモンド単結晶で従来の形状を上回る大型単結晶を開発、人工ダイヤモンド（LGD）市場向け種結晶やデバイス関連研究向け基板を手掛けていることから日米間税関交渉の第1弾プロジェクトで人工ダイヤモンドが生産プロジェクトが浮上していることを受けて人気が集まっている。



東電HDを改めて狙う

く戻し
ていま
した。東
京

先週末の日経平均は調整色の強い動きになりましたが、週末6日は売り一巡後から急速に戻して435円64銭高で終わっています。

5日には米国のナスダック市場が大幅続落し、ロームやダイキン、ソフトバンクG、NECなどの下落が目立ち、半導体系のレゾナック、アドバンテスト、レイスコ、スクリーン、レーザテックなども売られていました。銀行が決算前に債権の含み損を埋めるために、ここ急伸

自民圧勝で内需押上げ

電力ホールディングス（9501）が原発の再開を来週と発表しました。予想通り早期の再稼働となります。これによって、650円近くまで目先は戻すと思われます。ナンピンをかけた方にはプラスに浮上することになります。住友林業（911）が戻り高値を更新しました。1800円台まで乗せるものとみています。

自民党が圧勝することがほぼ確定になり、今週には改めて内需系中心に日経平均は押し上げられていくことでしよう。半導体系も6日で売り一巡感が出てきますので見直し買いも見込まれ、日経平均の押し上げに貢献するところになりそうです。引き続き東電

高野恭壽の株式情報



成水大
建、ゼ
大、ネ
き、清

株式市場新聞の名物コーナーが復活！

た。半面、買
われだグル
好決算銘柄
ろん、医薬
ステラス、
が上昇し
大手ゼネ
コンも清
水建、大
成が大きい

も注目され
うです。
ク（6383）
7（6383）
製油（2600）
が続き、不二
算銘柄の物色
しよう。好決
H Dでいいで
き続き東電
うです。引
とになりそ
貢献するこ
押し上げに
買いも見込
巡感が出て
う。半導体
し上げられ
て内需系中
ぼ確定にな
自民党が圧
るものとみ
した。1800
911）が戻
ことになり
ていた方は
みられます
650円近く
働となります

高野恭壽（たかのやすひさ）氏 株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家へ。講演会のほかラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに出演。「株式投資30カ条」など著書も。

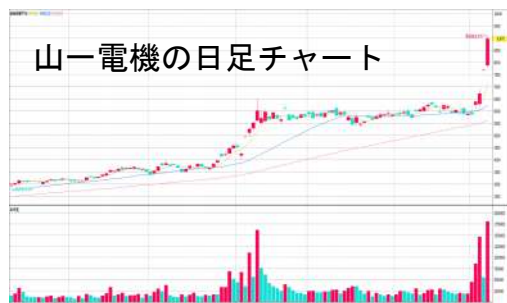
公式ホームページ

<https://marketpress.jp/kabu-takano/>

山一電機ストップ高

DC向け拡大で上方修正、増配

5日、山一電機（694）がストップ高。2月6日の業績予想について、連続高値で7億5000万円（前年同期比11.0%増）へ上方修正、期末配当を70円から97円（前年同期比54%増）へ引き上げた。コネクタ



ユニチカがストップ高

機能品拡販などで上方修正

ソリューションの好むデータセンタ向けが大幅に増加した。

週末6日、ユニチカ（3103）がストップ高。この日1時に26年10月1期予想について、連結営業利益で75億円から95億円（前期比58.8%増）へ上方修正した。不採算販売の見直しや高付加価値・高機能製品の拡販、コストダウン施策の効果が見込まれた。ただ、大引けにかけ水準を切り上げた。

富士製薬上方修正高

トヨタ増額も予想通り

トヨタ自動車（7203）は小動き。2月3日は発表した26年3月期第3四半期累計の連結決算は、営業利益3兆1967億円（前年同期比13.1%減）で着地、ドル円を146円から150円に修正するなど為替前提を見直したことで、

も続く。主力製品の順調な販売は今後も続く。見込まれる。

～ 決算情報 ～

日本精線

カプコン

建築関連の低調で3Q減益
半導体向けNascleanは伸びる

日本精線（5659）の今26年3月期の第3四半期累計（4～12月）決算は、連結売上高346億5500万円（前年同期比2.3%減）、営業利益21億4000万円（同38.8%減）、純利益15億5300万円（同37.1%減）となった。ステンレス鋼線は、高機能・独自製品であるばね用材や自動車向けなど一部アイテムで増加したが、建築関連向けの鈑螺用材が引き続き低調に推移。半導体関連業界向け超精密ガスフィルター（Nasclean）は、AIやデータセンター向け半導体需要の高まりを背景に、半導体製造装置メーカー向けを中心に伸びている。

通期は売上高435億円（前期比7.0%減）、営業利益32億円（同30.1%減）、純利益23億円（同29.2%減）の従来予想を据え置いた。

第3四半期は9割営業増益
通期9期連続最高益達成へ順調

カプコン（9697）の26年3月期の第3四半期（4～12月）決算は、連結売上高1153億1500万円（前年同期比29.8%増）、営業利益543億0200万円（同75.1%増）、純利益388億8500万円（同68.6%増）と大幅な増収増益で着地した。

「バイオハザード ヴィレッジ」や「バイオハザード:RE4」などの過去作の販売が続伸し、「ストリートファイター6」が、6月のニンテンドースイッチ2への移植販売に加え、eスポーツ展開との連携などにより収益に貢献した。

通期予想の連結売上高1900億円（前期比12.0%増）、営業利益730億円（同11.0%増）、純利益で510億円（同5.3%増）の13期連続営業増益かつ全ての利益項目での9期連続最高益達成へ向けて順調だ。

あじかん

ハリマ化成G

機能性表示食品は好調
原料高騰と需要減退で3Q減収益

あじかん（2907）の26年3月期の第3四半期累計（4～12月）決算は、連結売上高で387億3400万円（前年同期比0.1%減）、営業利益で7億1200万円（同66.7%減）、純利益で6億1500万円（同62.3%減）となった。

販売面においては米や海苔などの価格高騰により主力製品を多く使用した巻寿司の需要が減退したことで、玉子製品やかに風味蒲鉾などのすり身製品、味付かんぴょうなどの野菜加工品の需要が減少した。一方、ヘルスフードは、「焙煎ごぼう茶ごぼうのおかげW」をはじめとした機能性表示食品が伸びている。

通期は売上高510億円（前期比0.1%減）、営業利益11億円（同44.0%減）、純利益9億円（同41.9%減）の従来予想を据え置いた。

通期利益予想を上方修正
半導体レジスト用樹脂が伸びる

ハリマ化成グループ（4410）は26年3月期通期の連結業績予想について、売上高は1080億円（前期比6.9%増）と期初予想を据え置いたが、営業利益を30億円から33億円（同58.4%増）、最終利益を12億円から18億5000万円（同2.4倍）に上方修正した。

売上高は塗料用樹脂の新製品投入効果と半導体レジスト用樹脂の伸びで製紙用薬品の価格低下やローター事業の伸び悩みをカバー、樹脂・化成品事業の増収と米国での製紙用薬品拡販、持分法投資利益が収益を押し上げる。

第3四半期累計の連結決算は、売上高779億4000万円（前年同期比2.9%増）、営業利益26億6200万円（同36.8%増）、最終利益18億4000万円（同2.5倍）で着地した。

～決算情報～

荒川化学工業

T O A

3Q8割営業増益で着地
機能性コーティング材料収益牽引

荒川化学工業（4968）の26年3月期第3四半期累計の連結決算は、売上高613億7300万円（前年同期比1.9%増）、営業利益18億3000万円（同80.4%増）で着地した。

スマートフォンの出荷台数の回復や半導体、生成AI、データセンターなどの注力分野で光硬化型樹脂が伸び、ファインケミカル製品とハードディスク用精密研磨剤の販売も過去最高水準を維持、機能性コーティング材料事業が全社収益を牽引した。千葉アルコンの稼働率改善により、粘接着・バイオマス事業の赤字も縮小した。

通期は売上高850億円（前期比5.9%増）、営業利益28億円（同2.6倍）と期初予想を据え置いた。第2四半期末、期末各々25円、年間配当は50円を計画。

3Q8%増収7割超の増益
官公庁向けなど国内伸び収益牽引

T O A（6809）の26年3月期第3四半期累計の連結決算は、売上高386億3700万円（前年同期比7.7%増）、営業利益30億8700万円（同70.8%増）、最終利益22億3900万円（同73.6%増）と増収大幅増益で着地した。

国内で官公庁やオフィスビル、宿泊施設に加え、海外の鉄道車両向けが伸び全社収益を牽引した。海外もアメリカで小売店や工場、カナダで教育市場や鉄道施設、インドネシアで首都移転に伴う新庁舎、中東では都市開発プロジェクト向けなどへ納入が進んでいる。

通期は売上高545億円（前期比7.7%増）、営業利益45億円（同25.3%増）、最終利益27億5000万円（同16.1%増）と期初計画を据え置いた。年間配当は85円（前期40円）を予定。

英 和

昭栄薬品

第3四半期10%営業増益
更新需要やDX投資、造船向けなど増加

英和（9857）の26年3月期の第3四半期累計（4～12月）は、連結売上高337億2600万円（前年同期比4.5%増）、営業利益20億7900万円（同10.3%増）となった。電力業界、製造用機械・電気機器業界向けの販売が減少したほか、社会インフラ分野で活用される特殊車両は、トラックシャーシの出荷遅延や架装工程を伴う車両の長納期化の影響を受け販売が減少したが、化学業界、鉄鋼業界の定期修理に伴う更新需要や生産性向上を目的としたDX投資を取り込んでいる。また、生産設備の稼働率が高い造船業界向けの販売や、大型の設備案件の完工により建設・プラント業界向けの販売も増加。

通期は売上高485億円（前期比2.5%増）、営業利益28億6000万円（同2.6%増）を据え置いた。

第3四半期は7.4%増収
化学品堅調で日用品も売行き好調

昭栄薬品（3573）の26年3月期の第3四半期累計（4～12月）は、連結売上高202億7900万円（前年同期比7.4%増）、営業利益3億9100万円（同21.3%減）となった。

化学品事業では国内外で景気が底堅く、自動車関連や繊維油剤関連の主要得意先からの受注（数量）が堅調に推移。また、販売価格に影響を及ぼす天然油脂相場価格は前年の高値から下落したが反転し、販売価格は比較的高値水準で推移。日用品事業では掃除用関連商品や生活日用品（洗濯槽クリーナーや用途別脱臭剤など）の一部定番商品や忌避剤など季節性商品の売行きが好調に推移している。

通期は売上高244億6400万円（前期比2.2%減）、営業利益4億500万円（同27.5%減）を据え置いた。



仕事忙しいと勉強する時間もないのだが。楽しんで利益を追及は難しいと思う。

の建設や機械株ばかりを売買しているが、毎月数万円の利益を出している。何で運用するかは得意分野があるから正解はないが、自分自身が無理せず納得できるならそれが正解になる。

ロボアドバイザーなどAI?による自動売買らしいが、運用方針を決めるとあとは自動で色んなものを自動で売買してくれるそう。筆者も少額を試しに運用してみたが、数週間経過して元本近辺を前後で推移している。1年とかある程度経たないと評価ができないが、やはり勉強して自分自身の運用スタイルを確立する方が良いと思う。

星野三太郎の株街往来

～自動運用は良いのか?～

株式関係の仕事をしていると、ひと昔前なら「面白い銘柄はない?」と聞かれることが多かったが、最近では「ウエルスナビとかロボアドバイザーならどれが良い?」と聞かれることが増えてきた。

筆者が自分の資産で運用する場合は225先物OPが7割で個別株が3割程度。会社の元同僚はスタンダード市場の低位



New product

モロゾフ 層ごとに異なる食感に驚き バレンタイン限定チョコスイーツ



濃密プレミアムチョコレートプリン

モロゾフ(2217)はバレンタインにぴったりなチョコレートスイーツを期間限定で販売する。

「濃密プレミアムチョコレートプリン」メインとなるプリン生地には厳選されたチョコレートを使用。ソースに使用した「シングルモルトウイスキー」のフレッシュな香りと「フランス産ホワイトチョコレート」クリームの繊細な甘さがチョコレートの味わいをさらに引き立てる。「パリッ ふわっ とろっ」それぞれの層ごとに異なる食感が食べた時の驚き、楽しさをもたらす。

「グルノーブル(スプリングハート)」チョコレートスポンジケーキで、ウォールナッツ入りのチョコレートクリームをサンド。かわいらしいピンクのチョコレートコボで仕立てた、バレンタイン限定のチョコレートケーキ。

東和フーズ 限定デザインにアレンジ ひなまつりショートケーキ予約開始



ひなまつりショートケーキ

東和フーズサービス(3329)は、運営する「椿屋珈琲・ダッキーダック アニバーサリーケーキ予約サイト」で「ひなまつりショートケーキ」の予約を開始した。

子供の成長を願う「ひなまつり」にあわせて、定番のストロベリーショートケーキとミルクチョコレートケーキを限定デザインにアレンジ。口どけのよいスポンジとコクのあるクリーム、そしてみずみずしい苺を贅沢に使用したストロベリーショートケーキをはじめ、ミルクチョコレートケーキ、ベルギーチョコレートケーキ、モンブラン、プラチナレアチーズケーキ、ガトーショコラと幸せが広がるアニバーサリーケーキを取り揃えている。

潮流

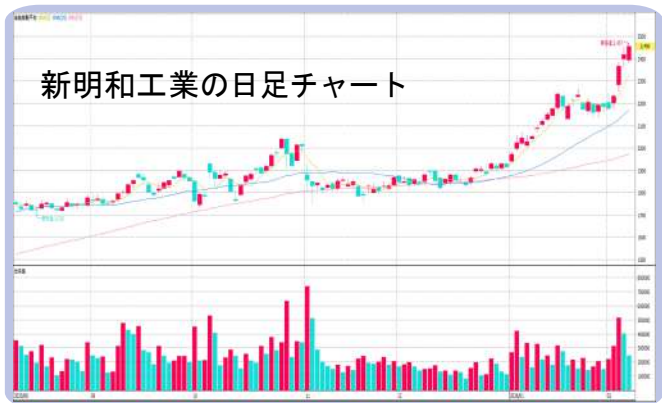
日本を再び「稼げる国」に 高市政策はこれからが本丸


 marKet bAnk

2月3日の東京株式市場で、日経平均株価は終値で史上最高値となる5万4720円66銭を記録し、前日比2065円高（上昇率約3.9%）と年初来最大の上昇幅となった。衆院選で与党優勢が伝わり「自民党単独で過半数」が日本株の追い風になっている。報道の真偽は別として自民党が単独で過半数を獲得すれば、日本の政治と経済は明確な転換点を迎える。

高市総理が掲げてきた政策は、これまで連立や国会運営上の制約によって「構想はあるが、実行が追いつかない」状態に置かれてきた。しかし単独過半数の獲得は、その足かせを一気に外し、「決めたことを、決めたスピードで実行する政治」への移行を意味する。6月に策定される「骨太方針」は、反対議員や官僚機構への過度な付度を排し、高市総理自身が描いてきた国家像と経済戦略を、正面から打ち出す内容になる可能性が高い。予算委員会、法務委員会、憲法審査会といった重要委員会の委員長をすべて自民党が握ることで、政策決定と立法のスピードが飛躍的に高まる点に本質がある。

これまで、委員長ポストを他党が持つことで、審議入りすらできなかった法案や、骨太方針に盛り込めなかった改革項目が一気に前進する。



2月3日の東京株式市場で、日経平均株価は終値で史上最高値となる5万4

高市総理が演説で繰り返し強調してきた「これからが本丸」という言葉は、まさにこの局面を指している。食料、エネルギー、医療、サイバー、インフラといった分野に国が本気で投資し、技術を社会実装し、国内で

生産し、国民が使い、さらに海外へ展開することで、日本を再び「稼げる国」に戻す。必要な投資は当初予算に計上し、補正予算に頼らない持続的な成長戦略を描く。

これは単年度の景気対策ではなく、日本経済の体質そのものを変える試みである。企業は政府の長期的なビジョンと継続した予算が見えれば、将来への投資を増やすだろう。企業の新規投資は需要拡大につながる。内需が拡大することで、新ビジネスや規雇が生まれる。そうなれば企業は供給を拡大する。需要と供給が共に増加するような景気循環が続けば、大企業だけでなく、中小企業の収益が伸びる。その役割を政府が先導して行う。高市政策で日本経済が復興し、国民が希望を持って、安心して暮らせる日が訪れることを願う。

潮流銘柄は新明和工業（7224）、群馬銀行（8334）、日本管財ホールディングス（9347）。

執行活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービ

にNHK番組「経済最前線」にて独自の投資支援システムが紹介された。直近では2024年3月の夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」で優勝。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービ



岡山 憲史氏（株式会社マーケットバンク代表取締役）のプロフィール
1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第1回S1グランプリ」にて1万人超の参加者の中から優勝。2002年

需要、供給をともに拡大



敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール
証券アナリストから証券会社の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。



自民大勝でも売りは出る？

日経平均の週足チャート



ドル円の日足チャート



今後当面はボラティリティの低い相場展開になると思われる「突っ込み買い」に徹したい。今週のレンジは5万4000円〜5万6000円を想定する。
(ハチロク)

先週の日経平均は前週末比約930円高となり、5週連続で週足陽線となった。5万円台に入りナイトセッション取引を入れると上下幅がほぼ毎日1000円以上動く非常に激しい相場である。そんな中でも5週連続

で陽線になっていることは大変強い相場であることの証左だ。先週も金相場や仮想通貨の大幅下落があったが、日本株は売られた後きっちり買いが入って値を戻している。8日の選挙で自民党が大勝するとの観測で相場は動いているが、織り込み感も漂っており、今週は自民党が大勝しても週の後半からは売

今週は2月限のSQ週でもある。高値圏にいたためコールを絡めた仕掛けがしやすい状態であり、想定以上の上昇もあり得よう。反面、その反動で「アイランドリバーサル」も発生しやすい局面でもある。今週は11日水曜日が休場で、立ち合いは4日だが11

日に米1月雇用統計、13日に1月CPIが発表予定で注目材料となる。金利の上昇が見込まれる日本市場は裁定取引業者から見れば、大きく動かして鞘が取りやすい市場になっているようだ。

ハイボラティリティの相場続く 突っ込み買いに徹つする

りが出る可能性は高い。選挙結果でまずは与党の絶対安定多数261議席、参院で否決された法案の衆議院再可決ができる310議席を獲得できれば大幅高も期待できよう。だが、同時に為替も円安に進もう。1月末にレートチェックした水準に戻りつつある。今度の実弾の介入が入る可能性も高く要注意だ。

日経225先物日足チャート



記者の視点

相場見通し

選挙後高市発言に注目

NY市場睨み決算プレイ続く

2月第1週の東京市場はニューヨーク市場の下落を受けて日経平均では5万3000円台前半にまで調整する場面があったが、押し目買い意欲は強く5万4000円台を維持して引けた。ニューヨ

や三菱UFJ(8306)などの金融も高値圏を維持しており、時価総額の大きいハイテク以外の銘柄に資金が向かっている。これまでのAI半導体一辺倒から、高市自民党圧勝による与党安定政権による「変化する日本」を期待した資金が幅広い銘柄の向かっているのかもしれない。

この欄を執筆している段階で衆院選の確定議席数は不明ながら、高市与党圧勝を受けて、朝高後には一旦は材料視出尽くしから利益確定売りの動きがある可能性も否定できない。今週は13日に225先物オプシ

1日に1月雇用統計が控えるが、調整色を強めているナスダックの下げ止まりを確認したい。国内では引き続き決算ラッシュで10日にホンダ(7267)、12日にソフトバンクグループ(9984)、キオクシアホールディングス(285A)、13日に大和ハウス工業(1925)などが控える。

衆院選を終えての高市首相の今後の経済政策などの発言があれば、マーケットにはポジティブに評価されるかもしれない。ニューヨ



編集後記

衆院選投票日の8日は発達中の低気圧の影響で強い冬の気圧配置になり、普通段雪の少ない東京や近畿地方の平地でも積雪が予想されている。すでに雪による被害が連日報告されているが、警報級の大雪になる地域が多く、積雪や凍結による交通障害に警戒が必要で、投票所には急がず足もとに気を付けて行くしかない。東京市場は与党圧勝を織込み、日経平均、TOPIXともに最高値を更新した。ただ、貴金属市況をはじめ不透明要因が目白押し。急いで高値掴みにならないよう注意したい。

ク市場に目を向けるとナスダックが5日までまで大幅に3日続落となり、調整色を強めている。2000億ドルの資本支出見通しが嫌気されアマゾンが5日引け後に時間外で急落。メモリ高騰を受けて物色されていたサンディスクなどストレージ関連も値を崩して、これがキオクシアホールディングス(285A)などの利益確定売りに拍車をかけていた。その一方で大林組(1802)や不動産(8411)が最高値を更新、みずほ(8411)は2月小売高、1

当面のスケジュール

- ・9日 1月景気ウォッチャー調査
- ・10日 1月マネーストック
1月工作機械受注
米12月小売売上高
米12月中古住宅販売件数
- ・11日 休場：東京市場(建国記念日)
米1月雇用統計
- ・12日 1月国内企業物価指数
米1月中古住宅販売件数
- ・13日 米1月消費者物価
- ・16日 休場：米国市場、中国(~23日)、台湾(~20日)、韓国(~18日)
- ・17日 12月第三次産業活動指数
- ・18日 1月貿易統計
米1月鉱工業生産・設備稼働率
1月27・28日開催のFOMC議事録
- ・19日 12月機械受注
米12月貿易収支
- ・20日 1月消費者物価
2月S&Pグローバル日本製造業PMI
米12月個人所得・個人支出・デフレター
米10-12月期GDP速報値
米2月S&Pグローバル米国製造業PMI

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らたたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。